

第3期奈良県医療費適正化計画(平成30～令和5年度)の平成30年度進捗状況について(概要)

行動目標ごとの平成30年度進捗状況

○本計画で定めた数値目標(16項目)の平成30年度(単年度)想定目標値に対する達成状況は、以下のとおり

達成 2項目	未達成 7項目	国等による関連データが公表されていないもの 7項目
<ul style="list-style-type: none"> ・病院数 36(目標 37未満に集約) ・糖尿病性腎症による新規人工透析患者数 215人(目標 223人以下) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援型の地域ケア会議を開催する市町村数 22(目標 25以上) ・後発医薬品の使用割合(数量ベース) 67.9%(目標 72.1%以上) ・喫煙率 11.9%(目標 11.6%以下) など 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査の実施率 ・特定保健指導の実施率 ・がん検診受診率 など

行動目標	数値目標(達成年度)	H30想定目標値	H30実績値	達成状況	主な取組	
I 医療の効率的な提供の推進						
1 急性期から回復期、慢性期、在宅医療、介護までの一貫した体制の構築						
(1)医療ニーズに対応した医療提供体制の整備	○地域医療構想に基づく病院機能の分化・連携の推進 ○重症急性期機能の集約	病床数を増やさない(R7) 病院数の減少(R7)	病床数 5,885以下 病院数 37未満に集約	病床数 6,200 病院数 36	病床数 × 未達成 病院数 ○ 達成	「面倒見のいい病院指標」の策定、公立・公的医療機関への適正な医師配置、南和3病院と南和地域の各公立へき地診療所間の情報共有、ドクターヘリによる患者輸送の相互応援の開始
(2)地域包括ケアシステムの構築と過不足のない効果的な介護サービス提供体制の整備	○自立支援型の地域ケア会議を開催する市町村数	39市町村(R2)	25市町村以上	22市町村	△増加したが未達成	自立支援型地域ケア会議の実施市町村の増加、医療機関間や医療機関と介護事業所間の情報共有を行うためのICTシステムの構築と試験運用の開始、入退院調整ルール策定市町村の増加
2 後発医薬品の使用促進	○後発医薬品の使用割合(数量ベース)	80%以上(R元)	72.1%以上	67.9%	△上昇したが未達成	県内2地域(桜井、大和高田)で医薬品適正使用促進地域協議会の設置・運営、使用割合の低い医療機関へ個別働きかけ、健康イベント等で県民へ啓発、後発医薬品差額通知の作成・発送
3 医薬品の適正使用(重複・多剤投薬、残薬対策)	○15種類以上の薬剤を投与されている患者(国保+後期)割合	35%以下(R5)	5.8%以下	未公表	—	医療関係者向け研修会の開催、県内2地域で医薬品適正使用促進地域協議会の設置・運営、公開講座等での県民への啓発、お薬手帳・残薬バッグの普及啓発、服薬情報通知の作成・発送
4 糖尿病重症化予防の推進	○糖尿病性腎症による新規人工透析患者数	196人以下(R5)	223人以下	215人	○達成	県広報紙等を活用した糖尿病予防啓発、糖尿病専門医の養成、受診勧奨通知・保健指導
5 療養費の適正化	○1人当たり柔軟療養費(国保+後期)	全国平均以下(R5)	全国平均未公表	3,972円	—	療養費の点検・調査、パンフレット等による適正利用啓発、専門職員の配置
6 医療に関する情報提供の推進	○本県の医療の質の向上に向けて、医療機能の「見える化」を推進して広く県民に各種の医療情報を提供するとともに、医療機関による自らの取組を促す	—	—	—	—	レセプト・健診データ等の分析、医療提供状況・健康課題の見える化
7 公立医療機関における医療費適正化等の取組	○公立医療機関における医療費適正化の取組とそれを支える公立医療機関の費用構造改革を徹底し、取組状況を積極的に開示	—	—	—	—	後発医薬品使用割合の年度目標設定と使用割合向上、医業収益に対する給与比率等の抑制の目標設定
II 県民の健康の保持の推進						
1 特定健康診査及び特定保健指導の実施率向上	○特定健康診査の実施率 ○特定保健指導の実施率	70%以上(R5) 45%以上(R5)	51.4%以上 24.9%以上	未公表 未公表	— —	未受診者への受診勧奨、巡回健診の導入、利便性を考慮した場所での集団健診 未利用者への利用勧奨、特定保健指導従事者向け研修会の開催、健診当日・休日実施の促進
2 生活習慣病予防に向けた生活習慣の改善	○特定保健指導対象者の減少率(対平成20年度比)	25%以上(R5)	14.7%以上	未公表	—	野菜摂取・減塩の普及啓発、おでかけ健康法の普及、高齢者の運動・スポーツ活動に取り組むきっかけづくりの推進、シルバー人材センターの会員拡充に向けたイベント等の開催
3 喫煙対策	○喫煙率	9.9%(R4)	11.6%以下	11.9%	△低下したが未達成	禁煙支援ツールの配布、受動喫煙相談窓口の設置、禁煙外来受診を促す通知の送付
4 がん検診の受診率の向上	○がん検診の受診率	50%(5がんとすべて)(R4)	胃がん 40.8%以上 肺がん 42.3%以上 大腸がん 42.7%以上 子宮がん 42.2%以上 乳がん 43.9%以上	該当なし(3年に1度の調査のため)	—	「がん検診を受けよう!」奈良県民会議の開催、「奈良県がん検診応援団」認定団体の増加、特定健康診査とがん検診の同時実施
5 歯と口腔の健康の推進	○歯科医師による定期チェック(年1回)の割合	50%(R4)	男性 43.2%以上 女性 48.0%以上	男性 42.3% 女性 51.1%	△男性は上昇したが未達成 女性は達成	歯科検診受診勧奨、口腔保健支援センターの設置、在宅歯科医療に関する相談業務、歯科医師や歯科衛生士の派遣による歯科検診・口腔指導
III 介護給付の適正化						
1 要介護認定の適正化	○65歳平均要介護期間	全国平均未満(R2)	男性 1.67年未満 女性 3.44年未満	男性 1.78年 女性 3.69年	× 未達成	市町村の要介護認定率の地域差分分析・情報提供、ケアプラン点検の充実、運動や栄養の指導等に係る指導員の派遣
2 自立支援や重度化防止に繋がる効果的な介護給付の推進	○要介護認定率の市町村格差(年齢調整後)の是正	格差の是正(R2)	格差4.5ポイント以内	格差7.6ポイント	× 未達成	—

※・H30想定目標値…年度ごとに目指すべき想定指標として、計画開始前のH29(一部28)年度の実績値を基準に目標値までの差分を目標達成年度までの年数で均等割り等したもの
 ・H30実績値の「未公表」…実績値にかかる関連データが厚生労働省等から令和2年2月12日時点で公表されていないもの

平成30年度進捗状況における主な課題と次年度以降の主な対応

施策	主な課題	次年度以降の主な対応
後発医薬品の使用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬品適正使用促進地域協議会の設置地域が少ない(2地域) ・使用割合の低い医療機関が存在する 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記未設置地域での協議会立ち上げ ・使用割合の低い医療機関への訪問による働きかけの強化
糖尿病重症化予防の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病診療ネットワークの連携が不十分 ・受診勧奨後の医療機関受診状況等のフォローが不十分 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門医とかかりつけ医の連携強化 ・受診勧奨等の効果検証
特定健康診査及び特定保健指導の実施率の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村国保における特定健康診査実施率が低い ・集団健診の受診環境の更なる向上が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診との同時実施による利便性の向上 ・集団健診の実施地域・会場の充実